

郷土しりょうかん

わた り ちやうりつきやう ど しりやうかん
 巨理町立郷土資料館

〒 989-2351 巨理郡巨理町字西郷 140

Tel : 0223-34-8701 Fax : 0223-34-8709

E-mail : kyoudo@town.watari.miyagi.jp

国史跡三十三間堂官衙遺跡指定 30 周年記念 三十三間堂官衙遺跡を知ろう！(4)

さんじゅうさんげんどうかんのいせき
 三十三間堂官衙遺跡について理解を深める最終回は、しょうそういん
 正倉院について、そして史跡のこれからに
 ついてです。

正倉院※税の米などを保管・管理する倉庫(正倉)群がある場所

三十三間堂官衙遺跡の正倉院には、南西部の平らな土地に10棟の礎石建物の倉庫群や、管理棟などとみられる掘立柱建物が建てられました。礎石建物は高床の建物で、瓦がみつからないことから、屋根は板葺きだったと考えられます。また、これらの建物群を火災から守るため、周りを一辺約150mの方形状に溝で囲んでいました。このほか、正倉院の入口から郡庁院や東の麓につながる通路があったこともわかりました。郡衙の重要な役目であった租税の管理が、日理(巨理)郡衙でも行われていたのです。



▲正倉院礎石建物跡見学の様子
 (小学生文化財めぐり)

史跡を守り・伝える



▲現在の郡庁院跡のようす

三十三間堂官衙遺跡は、保存状態が良いことから遺跡の内容をよく知ることができ、史跡となりました。この遺跡が守られたのは、古くから地域の人々にとって大切だと考えられてきたことや、遺跡が山林にあり、さらには墓地があることによって開発の影響が少なかったことも考えられます。

史跡は保存されることが基本ですが、守るだけでなく、より多くの人々が史跡を訪れ、学べる場とし、地域の「宝」であると伝えていくことが大切です。

巨理町では、史跡整備基本計画を策定し、整備事業を行い保存・活用を図っていきます。具体的には、郡衙の建物などがどこにあったのか、どのような遺跡だったのかが現地でわかるような表示や緑地の整備、園路や説明板の設置などです。また、JR逢隈駅に近いことや、豊かな自然に恵まれたこの史跡の特色を活かして、多くの方々が訪れ、憩える場としていきたいと考えています。



▲郡庁院周辺整備イメージ図

次号の「郷土しりょうかん」は、4月に発行する予定です。

郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口に置きますのでご覧ください。



文化の日はオープンミュージアム！



11月3日の「文化の日」を記念して、郷土資料館を特別開館しました。今回も「郷土芸能演舞会」を開催し、巨理杵取り舞保存会の方々に出演いただきました。総合学習で舞に取り組んでいる吉田小学校3年生の3名も加わり、にぎやかに舞が披露され、日頃の練習の成果を発揮された児童のみなさんには盛大な拍手が送られました。

また、展示室内には切り絵や昔のおもちゃ遊びを体験できるコーナーを設置したほか、常設・記念展示の内容から出題したチャレンジクイズの正解者には、三十三間堂官衙遺跡史跡指定30周年記念のオリジナルクリアファイル(右下図)をプレゼントしました。

◀上：郷土芸能演舞会「巨理杵取り舞」の様子
下：昔のおもちゃ遊び体験の様子



◀クリアファイル

郷土資料館町民講座

「ものしり大学院」開講しました！



◀受講の様子

今年度はオープンミュージアムと同日の11月3日、記念展「古代の役所—陸奥国白理郡衙からみる律令時代—」に関連して開催しました。

三十三間堂官衙遺跡整備委員会副委員長の大橋泰夫先生(島根大学教授)を講師にお招きし、「三十三間堂官衙遺跡を学ぶ」と題して講演いただき、長年にわたり古代の地方官衙などを研究されてきた大橋先生から見た“三十三間堂官衙遺跡の特徴や価値”などについて詳しくお話いただきました。

当日は89人の方々にご参加いただき、三十三間堂官衙遺跡への関心の高さを改めて実感しました。出席者からは多くの質問があるなど、充実した時間となりました。

▶大橋泰夫先生



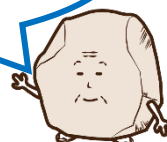
史跡 PR キャラクターはどの作品から！？

令和4年12月24日(土)から令和5年1月26日(木)にかけて、企画展示室で「三十三間堂官衙遺跡をもっと知らせよう！もっと広めよう！キャラクター選出展」が行われました。令和4年で三十三間堂官衙遺跡が史跡指定30周年を迎えたことを記念して町内の小学校6年生を対象に行った出前授業にて、「史跡PRキャラクターのデザイン」を考えてもらったものです。

この展示では、集まった148点の中からみなさんの投票によって第二次選考に進む15点が選ばれます。そして、最終的に史跡のPRに活用するグランプリ・準グランプリの2点が決まります。

どのキャラクターがグランプリに選ばれるのか、楽しみにお待ちください。

ステキなキャラクターの誕生が待ち遠しいのう





伊達成実霊屋御開帳



巨理伊達家の菩提寺である大雄寺には歴代領主の墓が建てられており、その中心にあるのが初代領主伊達成実が眠る霊屋です。

霊屋は正保3年(1646)に成実が79歳で亡くなってから間もなく築かれ、中には軍扇を持つ甲冑姿の成実木像が納められました。霊屋は江戸時代初期を代表する霊屋建築として宮城県指定文化財になっています。

1月16日(月)、今年度2回目の霊屋開帳と成実木像の一般公開を実施し、159人の方が参拝されました。また、午前には奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊の伊達成実さんと、郷土資料館学芸員による現地解説会を行いました。成実の生涯や巨理伊達家に起こった事件などについて成実さん自作の紙芝居を交えながら解説し、47人の参加者は熱心に耳を傾けていました。



▲成実霊屋参拝の様子



▲解説会の様子

次回の御開帳は
8月16日(水)じゃ！



災害から文化財を守ろう！



毎年1月26日は文化財防火デーです。この日は、文化財を火災などの災害から守るとともに、全国的に文化財防火運動を展開することで国民の文化財愛護に関する意識の高揚を図るため、昭和30年(1955)に制定されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で2年続けて中止となっていた町内の文化財防火査察・訓練ですが、今年は1月25日(水)に南町北区の称名寺で行われました。称名寺では県指定文化財の阿弥陀如来立像(黒本尊)を所蔵しており、訓練では、初期消火や仏像避難などの訓練が行われ、地域住民と共に火災から文化財を守るための行動や体制などを確認し合いました。



▲初期消火訓練の様子



今後の郷土資料館の事業を紹介します



気が付けば令和4年度も残りわずかになりました。郷土資料館の今後の事業についてお知らせします。

第25回収蔵資料展

- *期間 2月25日(土)～5月14日(日)
- *時間 9:00～16:30(入館は 16:00 まで)
- *場所 郷土資料館企画展示室

巨理伊達家雛人形公開

- *期間 2月18日(土)～3月5日(日)
- *時間 9:00～16:30(入館は 16:00 まで)
- *場所 郷土資料館常設展示室

